



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 議事奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享尚

出席報告：会員 74 名 出席 55 名 出席率 74.32% 前回出席率 67.57% 修正出席 63 名 確定出席率 85.14%

四 つ の テ ス ト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ 好意と友情を深めるか？
- ㊨ みんなに公平か？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

会 長 報 告

川村 徳 男 君

1. 鹿児島西R.C.の盟約20周年記念事業の一環として当地の名菓を送ったのに対して、お礼状と盟約記念例会の写真が参っておりますので、記事を掲載した会報と共に回覧します。本格的な記念例会をおやりになったようで有難いことです。
2. 来月の6月9日は鶴岡R.C.の創立26周年記念日ですが、繰り上げて来週、6月4日の例会日に記念プログラムを行なうことにいたします。恒例によりまして、お祝いに紅白のお餅を配ることにします。なお、出席委員会の本年度の活動計画の中にもありますし、中田委員長さんからお願いの文書が出ておりますが、100%出席をぜひとも実現されますよう、私からもお願いを申し上げます。
3. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係

来週の火曜日は本年度最後の定例理事会ですので、メンバーの方は11時半までお集り下さい。

(2) 一般の行事

6月1日は気象記念日、電波の日、写真の日
2日は横浜開港記念日です。

以上で本日の会長報告を終わりますが、私の会長年度も今日の例会を含めて、余すところ片手になってしまいました。有終の美を發揮するように、最後まで気をゆるめないでがんばりますので、会員皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

幹 事 報 告

迎 田 稔 君

- 会報回覧→鹿児島西R.C.
常葉R.C.10周年記念誌
- 次年度ロータリー手帳が届いています。事務局へ。

ゲ ス ト ス ピ ー チ

鶴 岡 市 の 60 年 度 予 算 に つ い て

鶴岡市長 齋 藤 第 六 氏

平素から市政に対してご理解をいただき、このほか国際交流について、先般ニュー・ブランズウィック市友好協会の主催いただきまして、デビット・M・ハイライン博士の歓迎会等催していただき、更にはまたロータリーの交換学生受入に対しても配慮

をいただき、鶴岡市が一段と国際都市として進展致しておりますことを有難くお礼申し上げます。

今日は新年度の予算の概要について申し上げます。60年度の予算については、国の補助金の大幅削減されたことで、生活保護司、老人ホーム、特別老人ホ

庄内空港の建設を推進しましょう



ーム等の費用について、国の負担が10%引下げられ、その分みな市の負担にはねかえてくるわけです。補助金の削減による影響は、鶴岡市でも1億6千万ほどになります。この金額は大変なもので、この金を有効

に使うことになれば、3倍も4倍もにして色々の事業がやりうるわけです。1億5千万あれば、国の補助金や起債を含めまして学校、道路の仕事がもっともっと色々事業ができるはずのものが、国との関係で地方団体は苦しい状況になっております。

今年的一般会計の総予算枠は187億2千万で、昨年当初に比べ3億6千万しか伸びず、その伸び率は1.7%で微増である。国の平均的な地方財政の伸びは4.6%は総枠で伸びるであろうと云われている。全国平均から見ると鶴岡の場合、そこまではいたらない現状であります。このようなことから、経常経費を切りつめまして、できるだけ投資的事業をやる費用にふりむけなければならないというきびしい予算編成を致したわけであります。

予算の中で一番大きいのは市税でございます。これは税金で76億1千万で、昨年当初は約70億でありましたので、6億1千万程税金が増えるであろうと見積りまして、8.8%の伸びを見込んでおります。ちなみに、国の財政計画では10.5%伸びるであろうとの見方をしておりますので、全国平均から見ると2%位下廻る見方をせざるを得ない。次に多いのは地方交付税34億5千万で、次が国庫支出金20億8千万。これが補助金削減によりまして、前年を100とした場合、86%しか見込めない。こういうところにしわ寄せができていくわけでありまして。もうひとつは市債、いわゆる事業をやる場合、国からの借金問題であります。これが15億4千万見込み、前年が21億2千万、約5億7千万少なくなっております。これは起債の条件がきびしくなっておりまして、従来財源対策制度でありましたものが今年からなくなりまして、金を借りるにも窮屈になってきていること

が反映して少なく予算を組んでおります。これからもこういう状況が続くであろうと思われ、補助金の削減は60年かぎりだといっておりましたが、最近国の状況から今後とも続けなければならないといつて補助金を検討する閣僚会議が発足致して、いわゆる国と地方との補助金のあり方を再検討しようといつての動きになって、1割削減は期待できず、恒久化されるおそれがあると思います。第一線におるわれわれ市町村は、だんだん苦しくなっていくわけがあります。

われわれは地方分権、いわゆる地方の仕事は全部地方にまかせてもらう。それと同時に財政配分をもっと合理的にやってもらいたい。今、税の問題は所得税や酒税と、いいところは全部国の収入になっているので、市町村の税金は市民税と固定資産税が主たるものでありまして、もう少し財源の配分を地方に厚くしていただきたいものです。こういうことを要望致しております。

苦しい中であるが、市としてはどうしてもやらなければならないもの、急がなければならないもの、将来のため今のうちにやらなければならないものを選別して重点的に進め、事業選択を厳しくしております。

59年度も主だったものを申し上げますと、待望久しかった図書館を約6億で完成し、7月下旬オープンできる段取りになっております。それから、栄小学校も改築が終りまして、立派な学校が出来ました。それから、羽黒街道の第二学区コミュニティセンター、59年度目玉事業としてコミュニティ防災センター、湯田川のコミュニティセンター、小牧原運動公園陸上競技場のスタンド3分の2をやり、今年度内部の整備を致すことにしております。

八森山スキー場にヒュッテ1億で作りました。それから駅前再開発に相当力を入れて、これからの問題であります。地権者の方々と話し合いをし、6月下旬には権利返還計画の縦覧や、地権者の方々のご了承いただければ、いよいよ工事に着手ということになります。まだ2~3問題がありますが、なんとか予定通り6月の権利返還の縦覧にもっていきたい

ものです。

60年予算の主なものを申し上げますと、今年は町村合併30周年に当り、昭和30年4月と7月に一町9ヶ村合併し、その後大山町の合併がありました。当時鶴岡市の人口4万数千ぐらいが、今日10万都市になったというひとつの大きな基礎づくりが町村合併であり、その30周年式典を計画しました。また、町づくり青年会議を新たに設けまして、若い青年各団体、各階層から推選を受けた50人の青年を委嘱しまして、町づくり青年会議を設置いたしました。若い方々のご意見や提言を市政の上に反映させていきたい趣旨で、任期は2年ということで作りました。今後色々活動してもらおう予定であります。

それからコミュニティカレッジ。これは今、郊外地、市街地にコミュニティというものがだいぶ進みました。コミュニティセンターも順次作ってまいりました。昨年は第一学区、第二学区、第三学区。この次は第四学区に作ろうとしています。順次やっていきますと、鶴岡市全域にコミュニティセンターができます。そこでコミュニティセンター指導者養成が大事になります。地域の教育の場であり、親善の場であり、地域作りの場でなければならないという目的を果すには指導者養成が必要であり、リーダー養成のため講師を招聘したり、講演会、研修会を催したい。

今年は国際森林年にあたりますので、山形県緑のシンポジウムを鶴岡に誘致をいたして開催致します。また市民の森の会を作ってください、緑の普及には力を入れていますので、民間の協力を得ております。安藤惟親さんから樺を寄贈いただき、運動公園、湯田川のもとの国立療養所の裏の山に樺の森を作っています。また友好の森ということで江戸川区から相当のご寄贈をいただくというお話を聞いております。市民の意識の高揚を図っていきたくと考えています。

ごらんの通り、新総合計画、いわゆる新しい総合開発計画を59年度、60年度の2ヶ年に亘り作り上げようと、59年から総合開発計画委員会に諮問をいたしておりまして、70年を目途にした新しい総合開発計画を今年度中に答申をしていただくことにしてお

ります。勿論21世紀をみこしての鶴岡市の総合計画で、非常に大事な計画であると考えています。また“雪の降る町”は鶴岡市で構想を練られた名曲であります。内村直也さんが鶴岡に来たときにこの歌を作られたということで全国的に有名になっており、これを何とか観光面に活用できないかと、市の若い職員がアイデアを出して、第1回の雪の降る町の全国コンクールをやる計画を致しております。できるだけ多くの合唱団を招きまして、真冬の期間に実施し、作曲家の中田喜直先生を招きまして、課題曲を“雪の降る町”と、自由曲一曲を加え、二曲づつでコンクールをやりますので、成功させ、毎年やりたいものと思っております。

新しい政策としては、特住宅の建設資金の利子補給として新築、増築、内部改造される場合、希望の方に一戸当たり20万から100万の資金を貸し出す制度であります。これには市内の金融機関の皆さんから全面協力をしていただいて、その枠は1年間で3億、償還期間5年、利率は4.5%で、越える分について市が利子補給をする仕組みであります。これは昨年酒田で実施し、大変利用者が多かった。本市の場合大体1億位消化しているようです。わずか100万ですので、どのくらい効果があるかわかりませんが、職人の方の仕事がなくて困っている。また建材関係、其の他の需要を喚起しようという目的でやるわけです。

また、行政改革推進協議会。これは国も地方も一体となって行政改革をやって、できるだけ無駄をはぶいて、必要な新しい面に予算を振り向けなければならない。どこの市町村でも共通の問題です。市民の代表の方々が参画して行政改革推進協議会を発足させ、13名の委員を委嘱して、本格的にどのような部面を改革するか検討することにしてあります。

次に火葬場の改築です。なかなか場所が決まらないため長引いていましたが、幸い斎地区、伊勢横内の方々の協力を得まして、現在の場所に、面積は現在の10倍、約1町歩を買収致しまして、60年、61年の2ヶ年継続として、最新の近代的施設の火葬場を建設しようと、今年2億4千万、来年も同額大体4

億5千万かかり、無煙、無臭、無公害の近代施設を作ることになります。

また農業関係ではライスセンターを作り、大規模なものを京田地区に、小規模なものを田川地区に、来年は黄金地区に350haを求め建設予定であります。すでに大泉、西郷、上郷には出来て、遂次ライスセンターを作り品質向上を図り、一等米作りを推進していきたい。これも幸い国務大臣が出ているので助かって居ります。

また、花の緑のモデル都市が全国6ヶ所指定され、そのうち鶴岡市が指定され、3ヶ年計画で約1億5千万位かかります。市役所の前から致道博物館通りと内川の改修を行い環境整備を行い、補助事業を導入実施して、下水道に1億3千万、道路新設改良5億6千万、総合運動公園メインスタンド2億4千万、京田小学校改築、田川小学校体育館等事業計画を予定通り実施致したいので宜敷くお願い申し上げます。

スマイル

- 小池 繁治君 天神祭の仮装。
6月1日～3日絵画展を開催。
御出下さるよう。
- 今村 哲君 天神祭、ロータリアンが大勢参加。NHK宣伝下されたので。
- 佐藤 英明君 20日からサービス致しましたN T Tつるおかスポーツ情報テレビホンサービス、全国で初めて。
売上げの一部をスマイル。

23-1589
にいさん いこう やきゅう

- 山口篤之助君 3人目の孫誕生（女の子）

ビジター

- 鶴岡西R.C. 三浦正志君・菅原年雄君
八幡慶二君

ロータリー用語便覧(19)



国際学生交換 地区またはクラブ水準における国際間の青少年（学生）交換のことで、R.I.理事会はその効果を高く評価し声明を採択して奨励する方針をとっている。ただし、この方針声明には、

注意すべき事項が多く含まれているので、国際学生交換の実施にあたっては、その方針を充分に理解して、準備にかならなければならないとされている。なお、この理事会の方針声明は『1975年版 手続要覧』103～105頁に詳しい。日本では最近、合同各地区交換委員長会議（主として東京で）が開かれ、情報の交換、渡航手続きの集約化の努力がなされている。また世界大会の一部としても、国際的規模での交換委員長会議が開かれている。

国際協議会 国際ロータリー運営上最も重要な国際的会合で、国際ロータリーお

よび各加盟ロータリー・クラブの次年度の事業活動を協力して協議計画し、ロータリー教育と管理上の任務についての指導を行ない、参加者相互の親睦を計るのを目的としている。毎年、国際大会直前に開かれるが、参加を要請されるのは、国際ロータリー会長・副会長・理事・会長ノミニー・理事ノミニー・事務総長・財務長、ガバナー・ノミニー、R.I.とB.I.の次年度役員、国際ロータリー各委員会委員長、その他理事会が必要と認め指定した者等である。

なお、毎年地区ガバナー・ノミニーが特別な研修を受ける会議がこの「国際協議会」であり、したがって全会期出席しなければその資格を失うことになる。ただし、正当な理由があると認められる場合には、R.I.理事会はその出席を免除できる。

（今週の担当者 斎藤 昭）